

入院診療計画書

様

前立腺生検

主治医

受け持ち看護師

2016/7改正 (津島市民病院 / 患者様用)

	(/)	入院日(/)		(/)
	検査決定日(外来)	検査前	検査後	
説明	医師から検査の説明があります。 看護師から入院の説明があります。	10:30に入院、病棟へ案内します。 泌尿器科外来処置室に案内します。 検査用のベッドに移動します。	検査終了後、車椅子で病棟へ戻ります。	医師から退院の許可が出ます。 看護師から退院の説明をします。
検査	医師の指示に従い、術前検査 (採血・レントゲン・心電図)を行います。		検体は検査室に提出し、組織学的に 良性・悪性を判定します。結果は次回 外来受診日(/)にお話しします。	
検温		検査前に測定します	帰室後・帰室1時間後・夜に測定します。	朝測定します。
点滴		検査前に持続点滴・抗生剤を開始 します。	検査終了4時間後に抗生剤点滴をしま す。	
内服	普段飲んでいる薬を教えてください。 (抗凝固薬は休薬します)	普段飲んでいる薬を持参してくださ い。		朝から抗生剤の内服薬が始まり ます。
食事		自由	自由	
活動		自由	検査後1時間ベット上安静です。帰室後、 1時間の検温後、安静度解除になります。	出血を誘発しやすいので退院後、 7日間は自転車の運転はやめて ください。
			検査後、お部屋に尿器を設置します。尿 が出たら教えてください。尿が出ない場 合、管を入れて出す場合があります。	

経尿道的前立腺切除術

主治医

受け持ち看護師

2016/7改正 (津島市民病院 / 患者様用)

	入院日 (/)	手術日当日(/)		1日目 (/)	2日目 (/)	3日目・退院可 (/)
		手術前	手術後			
説明	医師から手術の説明があります。 看護師から入院の説明があります。(外来)		医師から手術の内容について、家族の方に説明します。	飲み物を多く取ってください。	尿の管が抜けたら尿の出た時間と量を記入してください。	医師から退院の許可がでます。 看護師から退院の説明をします。
検査	医師の指示に従い、術前検査(採血・レントゲン・心電図)を行います。(外来)					
検温		7時・手術に行く前に測定します。	手術後2時間目まで1時間おきに測定します。	1日に3回測定します。	1日に3回測定します。	朝測定します。
処置治療	必要物品の確認をします。 T字体 1枚 バスタオル 1枚	排便がないときに浣腸をする場合があります。	尿の量を測定します。		血尿がなければ尿の管を抜きます。	
点滴		手術前に持続点滴を開始します。	夕方に抗生剤を点滴します。			
内服	普段飲んでいる薬を持参してください。 (抗凝固薬は休薬します)		痛いときは痛み止めの坐薬を使うことができますので遠慮せずに教えてください。	朝から薬(抗生剤)が始まります。		
	21時以降食べないでください。 (水分可)	手術3時間前から絶飲(:)	手術6時間後から水分を取ることができます。	朝から常食がでます。		
活動	病院内自由 →		翌朝までベット上で安静にしてください。	安静度自由です。ただし血尿が多ければ安静にしてください。		
排泄	トイレ可 →		尿は管が入っています。	トイレ可		
清潔	入浴可	入浴かタオルで体拭きをします。		タオルを使って体拭きをします。	入浴可	

入院診療計画書

様

経尿道的膀胱腫瘍切除術

主治医

受け持ち看護師

2016/7改正 (津島市民病院 / 患者様用)

	入院日 (/)	手術日当日(/)		1日目 (/)	2日目 (/)	3日目・退院可 (/)
		手術前	手術後			
説明	医師から手術の説明があります。 看護師から入院の説明があります。(外来)		医師から手術の内容について、家族の方に説明します。	飲み物を多く取ってください。	尿の管が抜けたら尿の出た時間と量を記入してください。	医師から退院の許可がでます。 看護師から退院の説明をします。
検査	医師の指示に従い、術前検査(採血・レントゲン・心電図)を行います。(外来)					
検温		7時・手術に行く前に測定します。	手術後2時間目まで1時間おきに測定します。	1日に3回測定します。	1日に3回測定します。	朝測定します。
処置治療	必要物品の確認をします。 T字体 1枚 バスタオル 1枚	排便がないときに浣腸をする場合があります。	尿の量を測定します。		血尿がなければ尿の管を抜きます。	
点滴		手術前に持続点滴を開始します。	夕方に抗生剤を点滴します。			
内服	普段飲んでいる薬を持参してください。 (抗凝固薬は休薬します)		痛いときは痛み止めの坐薬を使うことができますので遠慮せずに教えてください。	朝から薬(抗生剤)が始まります。		
	21時以降食べないでください。 (水分可)	手術3時間前から絶飲(:)	手術6時間後から水分を取ることができます。	朝から常食がでます。		
活動	病院内自由 →		翌朝までベット上で安静にしてください。	安静度自由です。ただし血尿が多ければ安静にしてください。		
排泄	トイレ可 →		尿は管が入っています。	トイレ可		
清潔	入浴可	入浴かタオルで体拭きをします。		タオルを使って体拭きをします。	入浴可	

入院診療計画書

様

ESWL(体外衝撃波結石破碎術) 主治医

受け持ち看護師

2016/7改正 (津島市民病院 / 患者様用)

	手術決定日 (/)	入院日(/)		1日目 (/)
		手術前	手術後	
説明	医師から手術の説明があります。 看護師から入院の説明があります。	10:30に入院・病棟に案内します。 手術時間になったら、碎石室に案内します。	手術終了後、車椅子で病棟に戻ります。	医師から退院の許可が得られます。 看護師から退院の説明をします。
検査	医師の指示に従い、術前検査 (採血・レントゲン・心電図)を行います。	手術前にレントゲンを撮ります。		
検温		手術前に測定します。	帰室後・帰室1時間後に測定します。	朝測定します。
処置				回診があります。
点滴		持続点滴を開始します。—————→ 手術開始時に痛みを和らげる点滴を開始します。—————→		
内服	普段飲んでいる薬の確認をします。 (抗凝固薬は休薬します)	普段飲んでいる薬を持参してください。		
食事		入院時より絶食です。 ※水分は手術1時間前まで摂取可	帰室1時間後から食事ができます。 水分を多く摂取してください。	
活動		トイレを済ませてから、碎石室まで車椅子で移動します。	帰室後1時間ベット上安静で、その後安静度解除になります。	
排泄		室内のトイレを使用してください。 排石したら看護師に知らせてください。	尿を袋に貯めてください。 排石したら看護師に知らせてください。	
清潔	入浴可			

入院診療計画書

様

経尿道的尿管碎石術 経尿道的膀胱碎石術

主治医

受け持ち看護師

2016/7改正 (津島市民病院 / 患者様用)

	入院日 (/)	手術日当日 (/)		1日目 (/)	2日目・退院可 (/)
		手術前	手術後		
説明	医師から手術の説明があります。 看護師から入院の説明があります。		医師から手術の内容について、家族の方に説明します。	飲み物を多く取ってください。 尿の管が抜けたら尿の出た時間と量を記入してください。	医師から退院の許可が出ます。 看護師から退院の説明をします。
検査	医師の指示に従い、術前検査(採血・レントゲン・心電図)を行います。	レントゲン撮影をします。			
検温	入院時測定します。	7時・手術に行く前に測定します。	手術後2時間目まで1時間おきに測定します。	1日に3回測定します。	1日に1回測定します。
処置治療			尿の量を測定します。	濃い血尿がなければ尿の管を抜きます。	
点滴		手術前に持続点滴を開始します。 → 夕方に点滴を終了します。			
内服	普段飲んでいる薬を持参してください。 (抗凝固薬は休薬します)		痛いときは痛み止めの坐薬を使うことができるので遠慮せずに教えてください。	朝から薬(抗生剤)が始まります。	
食事	21時以降食べないでください。 (水分可)	手術3時間前から絶飲(:)	手術6時間後から水分を取ることができます。	朝から常食がでます。	
活動	病院内自由 →		翌朝までベット上で安静にしてください。	安静度自由です。ただし血尿が多ければ安静にしてください。	
排泄	トイレ可 →		尿は管が入っています。排便は手術後2時間後からトイレの使用ができます。	トイレ可	
清潔	入浴可	入浴かタオルで体拭きをします。		入浴可	入浴可

診療計画書

様

※手術日に必ず持参して下さい。

外来用ESWL(体外衝撃波結石破碎術)

主治医

受け持ち看護師

2016/7改正 (津島市民病院 / 患者様用)

	手術決定日(/)	手術日(/) :	
	手術決定	手術前(準備)	手術後
目標	結石破碎術の内容が理解できる。	安全に結石破碎術を受けることができる。	次回の受診内容が分かる。
説明	結石破碎術の説明があります。 診療計画書の説明があります。 同意書をお渡しします。	※診察券・同意書を2階20番泌尿器科受付にお出してください。	※次回の予約は領収書と一緒にしている予約券を確認してください。 ※次回は診察の前に腹部レントゲンを撮ってから診察に来ていただくことがあります。
検査	結石破碎術に備えて、術前検査(採血・レントゲン・心電図)を行います。	結石破碎術前に、腹部のレントゲンを撮ります。 ※ 時 分にお越しください。	
処置活動	体を動かすことによって、石の排出が期待できる場合があります。個人差がありますので必ず医師に相談してください。	トイレを済ませ、術衣に着替えて下さい。 碎石室まで案内します。 血圧・心電図モニターをつけます。	結石破碎術終了後、中央処置室で休んでいただきます。
点滴		持続点滴を開始します。 _____ →	点滴後、帰宅できます。点滴が途中で手術開始時に痛みを和らげる注射をします。 _____ → 気分不快がなければ帰宅できます。
内服	普段飲んでいる薬の確認をします。 抗凝固剤: 休薬期間:		
食事	制限はありません。 1日1500~2000mlの水分摂取を心がけてください。	時 分より絶食です。 水分可(水またはお茶)	終了1時間後から食事ができます。 水分はいつもより多めに摂取してください。
その他	※排尿時、茶こしを使用していただくと、結石が拾いやすくなります。 ※結石の成分を調べることができますので、結石が出たら泌尿器科外来までお持ちください。(平日の8時半~16時まで) ※結石破碎術後、血尿・排尿痛・腰痛・腹痛がしばらく続くこともあります。 ※38.5度以上の発熱が続く場合や排尿困難時は、泌尿器科外来に連絡してから受診してください。		